



スリランカ北部での巡回診療で、タミル人の患者を問診するAMDAの日本人看護師

医療で平和構築へ

対立民族も公平に援助

内戦停戦のスリランカ AMDA活動ルポ

約20年続いた内戦がようやく停戦に入ったスリランカで、国際医療援助団体「AMDA」（本部・岡山市櫛津）が、「医療と平和プロジェクト」を実施している。対立する民族に公平に医療などを提供し、平和の構築に貢献しようという試み。少

◆残る内戦のつめ跡

この夏、現地を訪れ、AMDAのスタッフに同行した。コロンボから車で国道A9号を北上し約6時間。ヤシの葉をふいた木道の政府側検問所を通過し、緩衝地帯を抜ける。地雷原への注意を呼びかける標識や砲撃で

破壊された住居跡が目立つつめ跡が残る。つようになる。LTTE スリランカでは、主に支配地域には現在も内戦 北部・東部に住むヒンズ

数派タミル人の武装勢力「タミル・イーラム解放のトップ」（LTTE）が支配する同国北部のキリノッチから、平和をつくり出そうとするAMDAの活動を報告する。

【四谷寛】

1教徒のタミル人と、多数派で仏教徒のシンハラ人の間で内戦がぼつ発約6万人ともいわれる死者を出した未、02年2月にフルウェーの仲介で停戦合意が成立した。AMDAは昨年2月にコロンボ事務所を開設。LTTEの本拠地キリノッチ、シンハラ人の貧困層が住む南部ハンバントータ、イスラム教徒が多い東部トリンコマリの3カ所で中立の立場で活動している。

キリノッチは国道沿いにLTTE独自の警察や裁判所、商店、食堂などが連なる小さな町。内戦で病院なども破壊され、廃墟と化した。徐々にリノッチ近郊の3カ所

復興が進んでいる。日本製4輪駆動車で舗装路の国道から未舗装のわき道に入り、約1時間で巡回診療先のカリパダムリッブ村に到着した。

◆映画館が臨時診療所 巡回するAMDAスタッフは医師2人と看護師3人、保健師1人など。周辺に医療機関はなく、村中心部に建つ約30平方メートルの簡素な映画館が臨時の診療所になる。組み立て式の机や診療器具、薬などを持ち込み、約10分で会場を設営。巡回診療の時間に合わせて訪れた呼吸器疾患などの患者を一人一人診察していく。

AMDAは同村などキリでも巡回診療を行っているほか、ハンバントータで週1回ずつ巡回診療。内戦で医療体制が貧弱となり、けがや病気に苦しむ人が多い。1回で40〜160人程度の患者を診察する。内戦で妹を失ったAMDAキリノッチ事務所のタミル人ナダラツヤ・ウダヤンさん(29)は「シンハラ人を憎む気持ちはない」と言い切る。誰かが内戦で家を壊されば、家族を失い、平和を望んでいる。AMDAの活動で平和をつくるんだと意気込む。現地でプロジェクトの進行役を務める松永一事業統括(36)は医療を受ければ、その勢力でも平和の尊さを実感するはず。内戦に契機をもち、平和の定着に期待する。

◆健康教育新聞も発行 AMDAはトリンコマリのメッセージを伝えてきた」と話している。

